

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和06年03月28日

事業所名 放課後等デイサービスegg

		チェック項目	はい	いいえ	無回答 OR わからない	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	100%	0.00%	0.00%		定員に対して適切な広さで、活動内容によって異なるスペースを確保できるよう床面を色分けしている。ロフトもあるので、空間を活かし、楽しく活動できるようにしている。また、室内活動と室外活動に分ける事で、より広いスペースで活動できるよう、心がけている。
	2	職員の配置数は適切である	85.71%	14.29%	0.00%		保育士・教員・児童指導員等、経験を重ねた職員達が在籍し、資格や経験を活かした関わりができています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	71.43%	28.57%	0.00%		ワンフロアで仕切りがなく、小さな児童さん達も安全に過ごす事ができている。玄関には段差があるが、横にスロープもある。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	100%	0.00%	0.00%		毎日のミーティングと定期的な会議で、振り返りを行い、児童さんの変化や成長を共有している。また、各児童さんに対し、個別支援計画に基づいた記録を週に1回は残して振り返りの機会を設けている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100%	0.00%	0.00%		アンケートの結果を受け、職員間で共有し、今後の活動や方向性について話し合っている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	100%	0.00%	0.00%		ホームページのINFORMATIONの欄からいつでもみることができるようになっている。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	42.86%	28.57%	28.57%		第三者による外部評価は行っていない。
適切な支援の提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100%	0.00%	0.00%		月に一度は社内研修を実施している。外部研修には時間が取れず参加できていないが、体制作りができれば、積極的に参加していく。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0.00%	0.00%		定期的に面談を実施し、保護者との話しを踏まえた上で、計画書原案を基に職員間で話し合い、作成している。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	85.71%	0.00%	14.29%		それぞれの児童さん達の興味、関心を持っている事をできる限り深めていく事ができるようにしながら、新たな興味をひきだしていく事ができるように関わっている。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	100%	0.00%	0.00%		事前に児童さん達の特性に合わせた活動プログラムをスタッフ間で話し合い、その日の利用状況を見て、当日の活動内容を決定している。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%	0.00%	0.00%		同じ活動が続かないように、児童さん達の要望も取り入れながら、様々な角度からアプローチするように心がけている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	100%	0.00%	0.00%		平日は利用時間が限られているので、室内活動と室外活動に分かれて取り組んでいる。休日や長期休暇中は外出等を通して目的をもって様々な体験ができるようにしたり、平日の時間ではできないような活動を取り入れている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0.00%	0.00%		一人ひとりの特性や、本人達の取り巻く環境、課題、目標を十分に把握し、個々への対応を決め、細やかに配慮しながら作成している。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100%	0.00%	0.00%		毎日、必ずミーティングを行い、その日に必要な支援を、最近の子ども達の様子も踏まえて、細やかに打ち合わせしている。また、その日支援の役割担当、送迎の確認も行っている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	100%	0.00%	0.00%		支援終了後には、当日の出来事を話し合う事で共有している。その日、出勤でないスタッフには次回出勤時に伝達するようにしている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%	0.00%	0.00%		活動記録用紙があり、事業所控えを作っている。それを基に今後の支援に活かしている。また、記録漏れがないか一覧表を作って作成し、日々管理している。
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	100%	0.00%	0.00%		定期的に、保護者に事業所に足を運んでもらい、モニタリングを実施している。その都度話し合いの内容や結果を職員間で共有し、活動や支援に活かしている。	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	100%	0.00%	0.00%		児童さん一人ひとりの特性に合わせて活動プログラムを組んでおり、個々に必要な支援を行っている。	

		チェック項目	はい	いいえ	無回答 OR わからない	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関 や保護者 との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	100%	0.00%	0.00%	参画している。サービス担当者会議が事情で開催されない時は電話やFAXを通して話し合いをしている。担当者会議の内容はその都度、職員間で共有し、より必要な支援を提供できるようにしている。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	100%	0.00%	0.00%	いつでも、学校や保護者と連絡がとれるようにし、何かあった時は早急に連絡を取るようになっている。下校時間等については、保護者から直接聞き、対応している。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	42.86%	28.57%	28.57%	医療的ケアが必要な子どもの受け入れはありません。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	85.71%	0.00%	14.29%	利用が決まってから、児童発達支援事業所や通院しているOTの方から情報提供してもらう事もある。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	71.43%	0.00%	28.57%	障がい福祉サービス事業所からの情報提供の依頼があれば、積極的に伝えていく。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	42.86%	28.57%	28.57%	専門機関等からの助言や研修を受けたいと思っている。受ける事のできる環境が整ったら、積極的に参加していく。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	71.43%	14.29%	14.29%	外出先で障がいのない子たちと一緒に遊んだり、交流できる事も多い。	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	42.86%	28.57%	28.57%	地域自立支援協議会等からのお誘いがあれば、積極的に参加していきたい。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%	0.00%	0.00%	送迎時に、その日の様子やちょっとした気づきを伝え、保護者が気になる事があれば、いつでも連絡がとれるようにしている。また、家庭での様子も聞きながら、情報共有に努めている。	
保護者への 説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	71.43%	0.00%	28.57%	保護者と直接話しをする時は、保護者の気持ちや悩みをくみ取りながら、「○○な支援をしたら○○ができました」等の話し方をしている。	
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%	0.00%	0.00%	契約時に説明を行っている。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%	0.00%	0.00%	定期的に行っているモニタリング時や送迎時、電話等にて相談があれば、助言している。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	28.57%	71.43%	0.00%	それぞれの生活スタイルが違うので、実現は難しいが、要望等あれば検討していきたい。	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0.00%	0.00%	保護者との思い違いが生じないように日々、活動用紙の記録、送迎時、電話で情報を共有している。保護者から電話等で相談があった時は、毎日のミーティングで内容を伝達し、共有している。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	85.71%	14.29%	0.00%	毎月月末にホームページにてegg通信を更新している。	
	35	個人情報に十分注意している	100%	0.00%	0.00%	個人情報は事務所内倉庫で管理し、十分注意している。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%	0.00%	0.00%	保護者の方いつでも連絡が取れるように、事務所不在時には、携帯電話へ転送できるようにしている。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に関わられた事業運営を図っている	42.86%	42.86%	14.29%	地域住民の方を招待する等の事業運営は現在、行っていない。参考となる資料等あれば行ってみたい。	

		チェック項目	はい	いいえ	無回答 OR わからない	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	100%	0.00%	0.00%	職員はいつでもみる事ができるよう、事務所書棚に置いている。保護者の方たちには、マニュアルがある事を契約時に伝えていくようにしていく。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%	0.00%	0.00%	年に2回は実施している。災害の多い時代なので、様々なシーンを踏まえ、災害時とすべき行動や、災害に合わせて、必要時は避難先を変える等の訓練をしていきたい。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%	0.00%	0.00%	虐待に関する研修は社内研修にて実施している。今後も継続して虐待に対する知識を深めていきたい。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	71.43%	28.57%	0.00%	やむを得ず、身体拘束を行うような子どもの利用はないので、計画は立てた事がない。子どもたちが落ち着いて過ごす事ができるように努めていく。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	71.43%	28.57%	0.00%	食物アレルギーのある子については、予め保護者から聞き取りを行っている。基本的には、昼食持参なので、しっかりとした対応はした事がない。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	85.71%	0.00%	14.29%	目立ったヒヤリハットはないが、保護者からの相談等があった場合は、記録として残している。予め対応できるように子どもの特性を職員間で把握し、未然に防止できるように取り組んでいる。	